

トップメッセージ

》はじめに

2018年度は、連結で節目となる1兆円の売上高達成となりました。これもひとえにステークホルダーの皆さまをはじめ関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

》2018年度を振り返って

2018年度を振り返りますと、食品流通業界におきましては、雇用環境および所得環境は堅調に推移しているものの、日常生活関連消費については節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いております。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活や購買行動の多様化も見られ、小売業の業種・業態を超えた競争がますます激しくなり、さらに、人手不足や燃料価格の高騰などに伴う物流を中心としたコスト負担も大きい中、6月以降には相次いで自然災害も発生し厳しい経営環境でした。

このような状況下において当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、卸売業の役割である「つなぎ」と自販力を基盤とした営業機能を強化して店舗の売場創造提案を行うとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても、価格だけに頼らない価値の提供に取り組みました。また、自然災害に対しては、即座に災害対策本部を設置し、商品を安定供給させるために物流機能の迅速な復旧に努めました。

また、海外事業においては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開と食品流通事業の構築を図っております。さらに、2018年1月にはマレーシアに本社を置くLein Hing Holdings Sdn. Bhd.の株式を取得して連結子会社とし、日本を含めたアジア地域における事業展開のいっそうの強化を進めております。

》これからの取り組み

今日、世の中では、働き方改革やガバナンス改革、コンプライアンスを重視した事業運営などへの社会的要請、人手不足や高齢化などの社会的変化が起こっています。

このような状況を踏まえ、当社グループは卸売業としての基本機能である営業と物流が連携を取りながら総合力を発揮して、マーケティングサポートや地域商材の発掘、提案型営業の質を向上させるとともに、グループとしてのネットワークを強化し、総体として仕入先様、得意先様の評価を高め、価値を創造し、卸売業としての営業機能を強化してまいります。加えて、物流機能の効率化や業務改革の推進に取り組むことで生産性を向上し、コスト削減や経営の効率化を進め、海外事業にも積極的に取り組んでまいります。また、組織力強化に向けたマネジメント層への研修、営業力強化のための営業マン教育、当社グループの次代を担う若手人材の教育等、各種教育の推進にも注力してまいります。

》創業70年を超えて100年企業へ

私どもは創業70年を超え、連結で1兆円の売上高を達成しました。この先の100年へと続くために、今後もこれからの成長に必要な機能・サービスを強化し、企業規模に見合った品格を併せ持った企業グループとして変革し続けてまいります。



代表取締役社長

加藤和弥